

11 住み続けられる まちづくりを



城山西小学校

5年

R5.5～9月

総合的な学習の時間

地球も伝統も守り伝えるふるさとの味

野菜くずから堆肥作りを行い、その土を使って野菜を作り、給食で食する。

ねらい

食料自給率の低さや地産地消の重要性、食品ロスや環境問題等、他教科で学んだことを生かし、地球や生態系、食や農の持続可能性に目を向けるとともに、自分たちにできることを考えさせる。

日程と内容

5月

- ・外部講師 渡邊さんをお迎えし、野菜くずから堆肥の作り方を教えてもらい、体験した。
- ・地産地消の意味を話し合った。
- ・野菜くずを分解した微生物の姿を見たり触ったりして確認した。
- ・普段食べているものがどこからきたものか話し合った。

6月

- ・野菜の種をまいた。(ニンジン・ダイコン)
- ・昔の食事と今の食事の違いを話し合った。

7月

- ・除草と野菜の育成状況の確認をした。

9月

- ・野菜を収穫した。その後、給食で食材として使用した。

